

ばらばらの情報を結びつけ連携させる

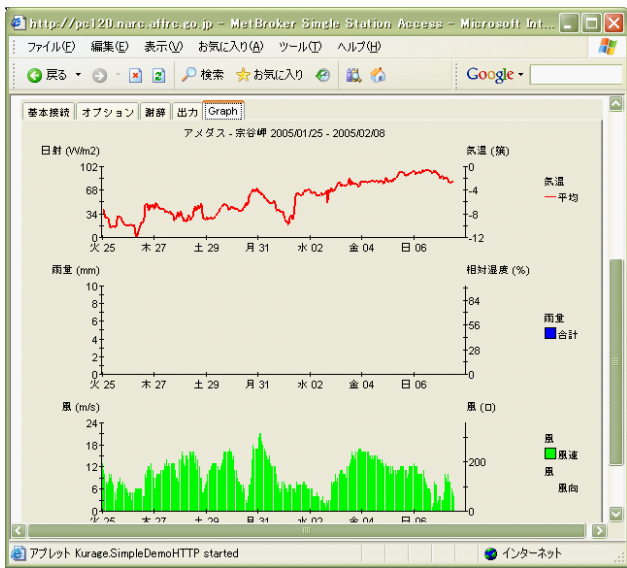
プログラムのメニューの言語を自動的に変更する

データやプログラムを共有する分散協調の考え方をさらに発展させると、日本国内だけでなく、世界での共有も視野には広がります。とくに、同じような農業背景を持つアジア諸国では有益なことです。

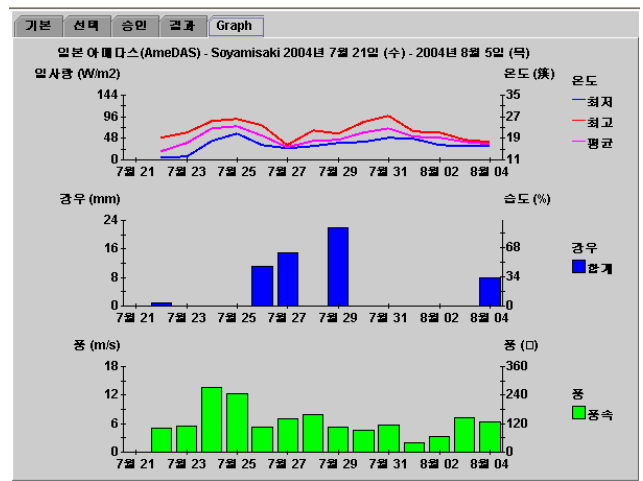
その第一歩として開発したのがインターネットブラウザから利用するプログラムのメニューを自動的に自国の言語で表示するしくみです。全く同じプログラムが利用者の使っているコンピュータの言語を自動判別してメニューを切り替えます。

例えば、このしくみに準拠して開発したイモチ病気発生予察プログラムは一切の改良なしに、そのまま異なる国で利用できることとなります。その際必要となる気象データをMetBroker 経由で獲得することは言うまでもありません。

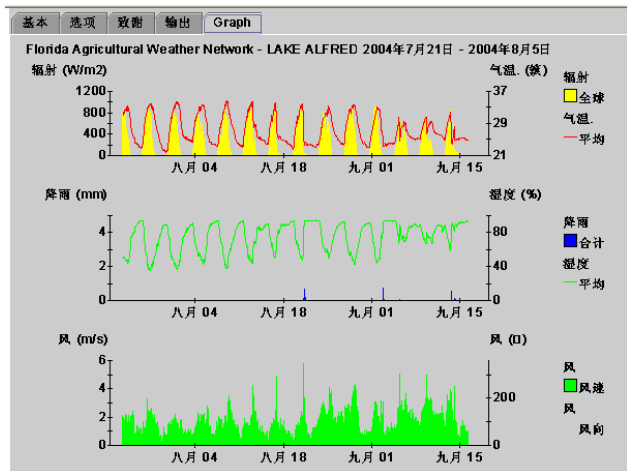
もし、自国の言葉に対応していない場合も、インターネットから利用できる辞書登録プログラムから自国語のメニュー単語を登録するだけで、準拠して開発された全てのプログラムが自国語対応になります。



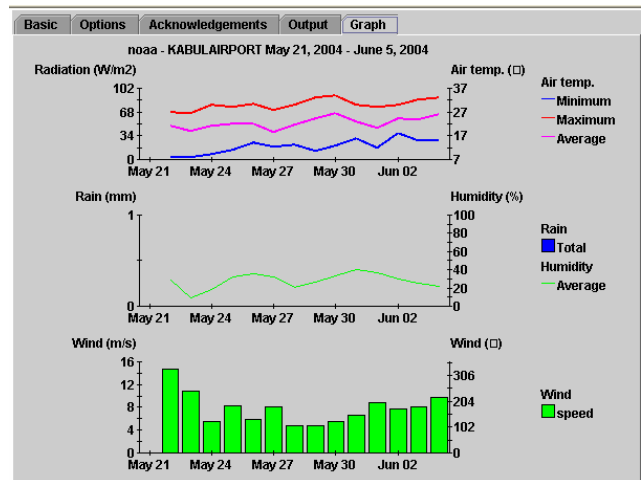
日本語メニュー表示



ハングルメニュー表示



簡略体中国語メニュー表示



英語メニュー表示

お問い合わせ先

独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センター 農業情報研究部 グリッドコンピューティングチーム
木浦卓治 (e-mail: kiura@affrc.go.jp URL: http://www.agmodel.net)